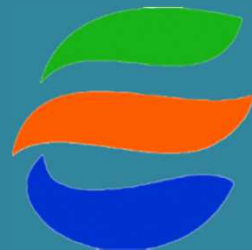


スマホで楽しく！お得に！歩こう

福井県 越前市 ながら運動普及推進隊



●前提

越前市では、加入者の高齢化と医療の高度化により国民健康保険の被保険者の人数は減っているにもかかわらず、医療費が増加していることが課題となっている。また、40～50代の年齢層では健診も生活習慣病の医療も受けていない人が多く、いわゆる健康づくりに無関心層であるが、将来の健康リスクを低減するには、無関心層に対して健康づくりの気運を高めていく対策が必要である。



スマホアプリで
ポイントを稼ぐ！
歩くだけで賞品ゲット！？

20～64歳歩数	福井県の現状	国の目標
男性	7,703歩	9,000歩
女性	6,805歩	8,500歩

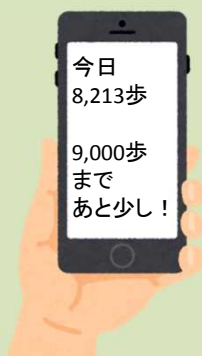


●提案

若者から高齢者まで所持率の高いスマホを用いた越前市独自の健康アプリを作成し、働き盛りの世代に運動習慣を身につけてもらう。

●アプリ内容

- ・歩数機能
- ・ポイント機能
- ・イベント機能
- ・お知らせ機能
- ・地域経済応援ポイント



☞ここがポイント！

既に多種多様な民間の健康アプリが存在するが、本アプリではイベント機能やお知らせ機能を付けることで差別化を図る。イベント機能では越前市がオープンデータとしてホームページにアップしているデータから地図上でどこでイベントが開催されているか一目でわかるような構成にする。

また、お知らせ機能では設定された地区や年齢ごとに必要な情報をプッシュ配信が可能。今まで検索していた手間が省け、効率的になり、より多くの人のダウンロードが望める。

●アイデアの論拠

図1は越前市における年齢別の健診受診率であるが、40～50歳の年齢層で受診率が低く、働き世代で自身の健康に興味がある人が少ない現状が分かる。また、生活習慣病は、40～50代で発症する傾向があることから働く世代が健康を維持していくことが重要だと考える。

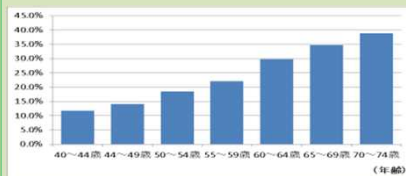


図1: 年齢別健診受診状況
【参照: 越前市特定健診法定報告基準】

図2のインターネット利用動向からすべての世代でスマートフォンの利用率は上昇しており特に50代では約10ポイントもの上昇になっている。また、越前市職員を対象に行ったアンケートでも10～50代のスマホ保有率は80%を超えており、このことからスマホアプリでの健康づくりに無関心層へのアプローチとして有効であると考えられる。

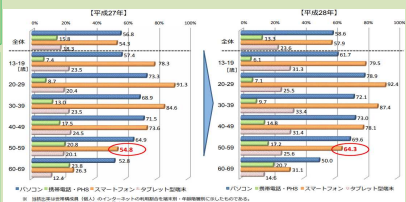


図2: インターネット利用動向
【参照: 平成28年度通信利用動向調査】

●アイデア実現までの流れ

- ①アプリ開発
- ②アプリ配信
- ③インストールの促進